



▲協定書に署名・押印後、握手を交わす(写真右から)佐藤・代表理事、小野上典明・県観光労働部企業立地課長、安田市長

ソフト開発企業が本市に進出

～天草市とソフトデータ㈱との立地協定調印式～

企業や公的機関が運用する各種システムのソフト開発などを手がけるマクロシステム㈱が、子会社のソフトデータ㈱を南新町に設立。その立地協定調印式が10月5日、市役所本庁で行われました。調印式で佐藤大作・代表理事は、「天草工業高校出身の優秀な従業員に好感を持ったことが立地のきっかけ。今後、天草にソフト開発の基盤をつくり、技術を世界に発信していきたい」と述べられました。同社では、来年3月までに従業員10人を新規雇用する予定です。



▲牛深ハイヤ踊りを披露した皆さんがチラシを配布し、天草での田舎暮らしをPR

都市住民の皆さん、天草で暮らしてみませんか！

～ふるさと回帰フェア～

10月6日、東京都大手町で「ふるさと回帰フェア2007」が開催されました。これは、都市住民に対して田舎暮らしをPRするため、さまざまな催しが行われたものです。

会場内に設けられた「ふるさと回帰自治体相談コーナー」には、本市など127の市町村(県も含む)が参加。天草市のコーナーを訪れた人は、「温暖で海と山があり、魅力的ですね」と、天草での田舎暮らしに関心を持たれていました。



▲絵付け体験で自分だけの湯飲み作りを楽しむ観光客

国の伝統的工芸品 天草陶磁器を堪能

～天草西海岸陶芸まつり～

10月5日から同9日まで、天草町と天草郡苓北町の窯元など11会場で、天草西海岸陶芸まつりが開催されました。

期間中は約3,000人が各窯元を訪れ、国の伝統的工芸品である天草陶磁器の魅力を楽しんだ。それぞれの窯元の特徴ある作品を手に取り、真剣なまなざしで品定めしていました。また、一部の会場では絵付け体験もでき、市外から訪れた人の中には、旅の記念にと焼物づくりを楽しむ人もいました。

皆さんの善意をお願いします

～赤い羽根共同募金～

10月1日から12月31日まで「赤い羽根共同募金」が全国一斉に行われています。

本市でも10月1日、市内5カ所で街頭募金を実施。サンリブ本渡前では、安田市長(=写真右)や共同募金会天草市支会運営委員などが「ご協力をお願いします」と募金を呼びかけ、募金者の胸に赤い羽根をつけていました。

寄せられた募金は、福祉施設の整備や地域福祉活動に役立てられます。皆さんのご協力をお願いします。



▲「ご協力ありがとうございます」



▲安田市長に優勝を報告するため市役所を訪れた本渡中学校陸上競技部の皆さん

本渡中学校が学校対抗で男女ともに優勝！

10/6・7
本渡

～熊本県中学校総合体育大会陸上競技～

熊本県中学校総合体育大会陸上競技が10月6・7日、県民総合運動公園で開かれ、学校対抗男子と同女子の部門で本渡中学校が優勝しました。同15日、同校陸上競技部員らが優勝報告に市役所を訪問。3年の富崎慧成くんは「校長先生が言われる“自己への挑戦と他への貢献”を果たせてうれしい」と優勝の喜びを語っていました。なお、同大会では天草郡市としても郡市対抗総合と同男子、同女子の部で優勝。天草郡市で5冠達成という快挙を成し遂げました。



▲大縄跳び「ギネスに挑戦！」中の子どもたち

12地区が運動で交流を深める

10/7
栖本

～栖本町民体育祭～

毎年恒例の町民体育祭が10月7日、栖本総合グラウンドで開催されました。天候が心配されましたが、しだいに晴れ間も見え、12地区から約1,000人が集まり、各種競技を楽しみました。栖本競輪や百足競争、綱引き、地区対抗リレー、一発逆転ジャンプなど全15種目の団体競技が行われ、各地区のテントからは大きな歓声がわき上がった。どよめきが起こったりしていました。結果は、優勝・打田区、準優勝・湯下区、3位・村区でした。



▲「自分たちの地域にはどんな活動が必要か」を真剣に話し合う参加者

地域のためにできることを考えよう

10/11
天草

～天草市地域福祉計画住民座談会～

10月11日、高浜公民館で市地域福祉計画策定のための住民座談会が開かれました。座談会には、町内5地区から地区振興会の会員や市職員など66人が参加。今回は、1月の座談会で話し合った内容をさらに掘り下げ、地域にあった福祉事業のアイデアを話し合いました。下田南地区では、「小田床ふれあいの日」事業と題してレクリエーションやボランティア、悪徳商法対策などを計画。来年度からの取り組みを検討することにしています。

ハイヤ節が海を渡る！

10/14
有明

～日米音楽交流親善演奏会～

10月14日、米国ニューヨークのカーネギーホールで「日米音楽交流親善演奏会」が開催され、日本舞踊・松ノ本流分家の泉田嘉代子さん(大島子)と有明中学校1年の西村茜さんが出演しました。この日のために週1回、松ノ本流の家元・松ノ本錦宗さん(熊本市)から指導を受け、日本舞踊やハイヤ節などを披露。出演した2人は、「世界的に有名なカーネギーホールに立つことができ、感謝と感激で胸がいっぱい。一生の思い出になりました」と話していました。



▲「日米音楽交流親善演奏会」に出演した泉田嘉代子さん(=写真左)と西村茜さん(=同右)